

(学科 I 問題)

ウラ模試 2

[No.7] 車いす使用者及び高齢者の利用に配慮した建築物の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 劇場において、車いす使用者用客席スペースを出入口に近い部分に設け、車いす1台当たりのスペースを幅90cm、奥行き120cmとした。
2. 洗面器の下部のクリアランスは、車いす使用者の利用に配慮して、床面から65cm確保した。
3. 階段の蹴上げを15cm、踏面を32cm、蹴込みを1cmとした。
4. 近年、「高齢者障害者等用便房」にオストメイト用設備を併設する「多機能便房」の拡充が推進されている。

[No.8] まちづくりに関する制度・地区における次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 「連担建築物設計制度」とは、複数敷地により構成された一団の土地の地域内にある、複数の新築の建築物において、合理的な設計により、容積率や日影規制等の特例対象規定を、同一敷地内にあるとみなして、適用する制度である。
2. 「地区計画制度」とは、地域環境の整備・保全のために、地区単位で建築形態・敷地利用等をコントロールする手法の一つである。
3. 「高度利用地区」とは、用途地域内の市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため、建築物の容積率の最高限度及び最低限度、建築物の建蔽率の最高限度、建築物の建築面積の最低限度並びに壁面の位置の制限を定めることができる地区である。
4. 「特例容積率適用地区」とは、市街地の防災機能確保等のため、特例容積率の限度の指定の申請に基づき、要件に該当する場合は、特例敷地のそれぞれに適用される特例容積率の限度を指定する地区である。

[No.10] 建築物の保存・再生の事例に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. アートプラザ（大分市）は、県立図書館にオリジナルの意匠を尊重した増改築を行い、機能拡張するほか新たにギャラリースペースを付加した。
2. 国立国会図書館 国際子ども図書館のレンガ棟（東京都）は、明治期を代表するルネサンス様式の洋風建築であり、貴重な建築遺産を保存利用しながら、新しい機能と空間をあわせもつ図書館として再生されている。
3. 門司港駅（福岡県北九州市）は、左右対称の外観デザインが特徴のネオ・ルネッサンス調の木造建築であり、駅構内には戦前から使用されている洗面所、手水鉢、上水道など様々な歴史的資産が存在する。
4. 富山市民芸術創造センター（富山県）は、紡績工場を改修し、音楽、芸術、舞台など大型の練習空間を複数持つ文化施設で、のこぎり屋根の外観を残すなど長年親しんだ風景を残し再生されている。